

2022年3月期 通期 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P. 3
- 2) セグメント別売上高・営業利益 … P. 4
- 3) 営業利益 増減要因 … P. 5

2 連結業績の詳細

- 1) 海外市場 … P. 7
- 2) 金融市場 … P. 9
- 3) 流通・交通市場 … P.10
- 4) 遊技市場 … P.11
- 5) その他 … P.12

3 2023年3月期の取り組み

- 1) 基本方針・重点実施事項 … P.14
- 2) 海外事業 … P.15
- 3) 国内事業 … P.16
- 4) 国内事業(新領域事業) … P.17

4 2023年3月期 業績予想

- 1) 2023年3月期 業績予想
 - 当社を取り巻く事業環境 … P.19
 - 通期業績予想 … P.20
 - セグメント別売上高・営業利益 … P.21
 - 海外地域別売上高 … P.22
- 2) 株主還元について … P.23

参考資料

- ・2022年3月期 通期
 - 損益計算書・包括利益計算書 … P.25
 - 貸借対照表 … P.26
 - キャッシュ・フロー計算書 … P.27
 - 予想比 … P.28
 - 設備投資他 … P.29
- ・2023年3月期 通期業績予想
 - 設備投資他 … P.30
- ・サステナビリティ … P.31

2022年3月期 通期



連結業績の概要

連結業績概要 前期比



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

【海外市場（特にリテール市場）の好調により増収減益】

- ・国内市場：新500円硬貨発行に伴い増加した保守売上の反動減により減収減益となるが、流通市場はセルフ型製品の販売が堅調
 - ・海外市場：欧米のリテール市場においてCIシリーズ（セルフ型レジつり銭機・紙幣硬貨入出金機）の販売が好調
- ※第3四半期より半導体等の部品調達難による生産影響に伴う販売延伸および部材価格高騰によりコスト増加

(百万円)	通期						前期比
	2020年3月期	売上高比率	2021年3月期	売上高比率	2022年3月期	売上高比率	
売上高	224,170	100.0%	217,423	100.0%	226,562	100.0%	+9,139 +4.2%
保守売上高	71,099	31.7%	78,675	36.2%	83,894	37.0%	+5,219 +6.6%
営業利益	17,927	8.0%	14,201	6.5%	10,297	4.5%	-3,904 -27.5%
経常利益	15,514	6.9%	14,137	6.5%	10,507	4.6%	-3,630 -25.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,486	3.8%	5,705	2.6%	6,509	2.9%	+804 +14.1%
※ EBITDA	31,865	14.2%	29,410	13.5%	27,505	12.1%	-1,905 -6.5%
為替 レート	ドル	109 円	106 円	112 円			
	ユーロ	121 円	124 円	131 円			

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

セグメント別売上高・営業利益

通期実績：海外市場の売上高が国内市場を上回る

(百万円)	売上高				営業利益			
	通期			前期比	通期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
海外市場	103,621	104,765	127,803	+23,038 +22.0 %	9,780	3,417	4,884	+1,467 +42.9 %
金融市場	42,262	49,877	36,079	-13,798 -27.7 %	3,314	9,861	4,644	-5,217 -52.9 %
流通・交通市場	52,487	49,078	47,859	-1,219 -2.5 %	5,198	1,670	2,543	+873 +52.3 %
遊技市場	20,753	11,020	12,131	+1,111 +10.1 %	1,998	-290	-366	-76 - %
その他	5,045	2,680	2,688	+8 +0.3 %	-2,364	-456	-1,408	-952 - %
合計	224,170	217,423	226,562	+9,139 +4.2 %	17,927	14,201	10,297	-3,904 -27.5 %

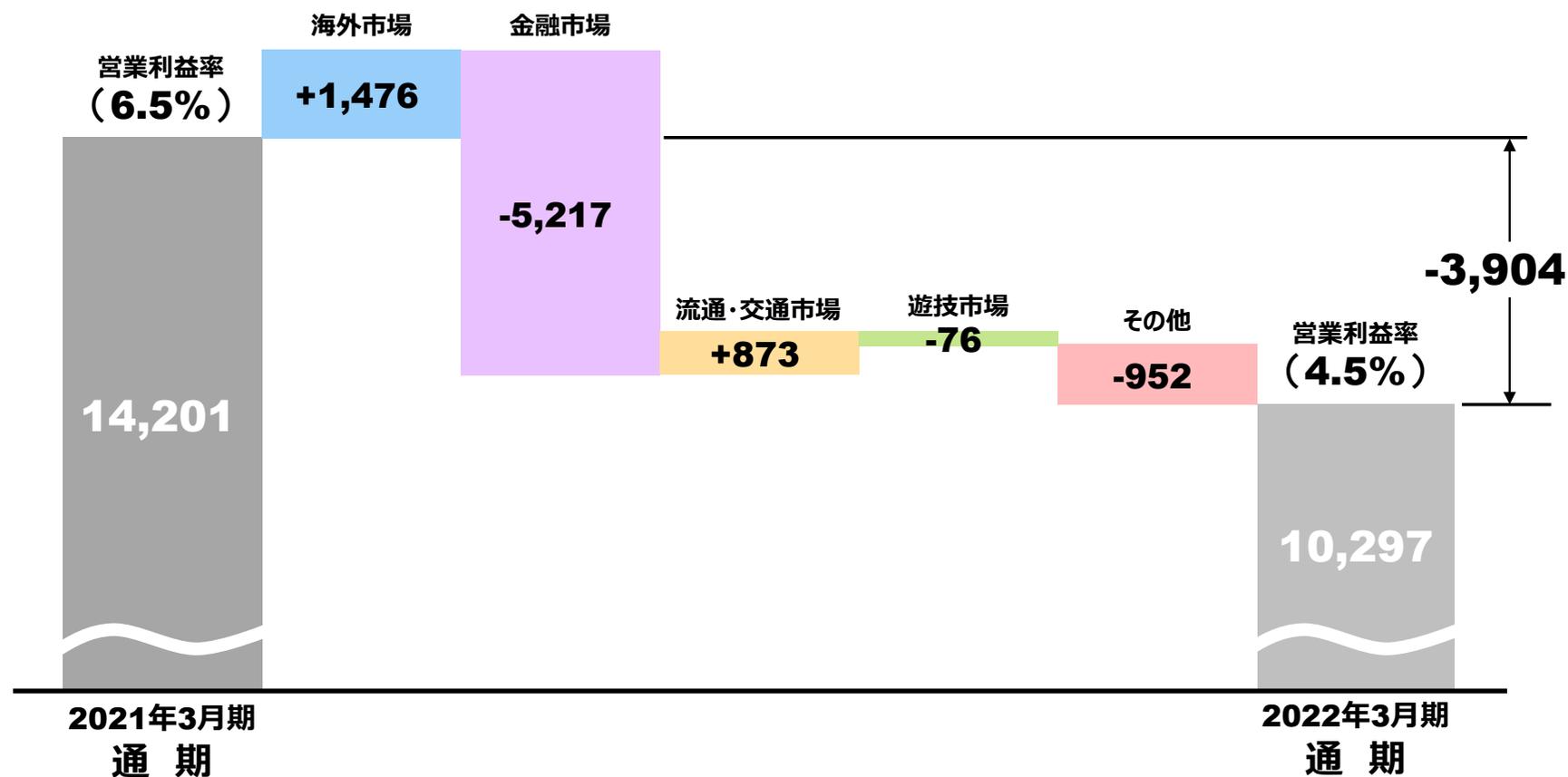
※第1四半期より事業セグメントを見直したことに伴い、従来「その他」に含めていた生体・画像認識事業及び電子決済関連に資する事業の一部を「流通・交通市場」に新事業の一部を海外市場に区分変更。この変更により、2021年3月期のセグメント情報を変更後のセグメント区分に基づき開示

営業利益 増減要因



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

単位:百万円



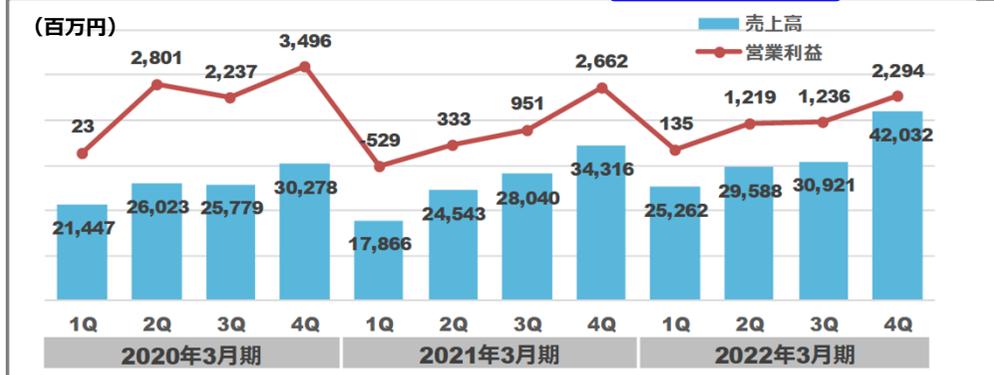
2022年3月期 通期



連結業績の詳細

海外市場

百万円	通 期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	103,621	104,765	127,803	+23,038 +22.0 %
売上高 構成比率	46.2 %	48.2 %	56.4 %	+8.2 pt
営業利益	9,780	3,417	4,884	+1,467 +42.9 %
営業利益率	9.4 %	3.3 %	3.8 %	+0.5 pt



業績のポイント

※ TCR : 紙幣入出金機

- 【 金融市場 】・欧州で更新需要の獲得によりTCRの販売が増加
- 【リテール市場】・欧米の大手リテラー向けの販売は好調
 - ▶ コロナ前を超える
- ・アクレック社の販売も順調
 - ▶ コロナ前を超える

提供する価値

- 自動化・省力化ソリューション
- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
 - ・現金管理ソリューション
 - ・電子決済ソリューション
 - ・新たな現金インフラを活用したソリューション など

プロダクト	サービス
	UBIQUILAR™ デジタルサービス
	paysafecard オンライン現金決済プラットフォーム

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、OEM先等への販売・保守

地域別売上高

(百万円)	通 期			前期比	現地通貨ベース
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		
米州	38,459	34,891	44,271	+9,380 +26.9 %	+18.7%
欧州	44,119	50,288	65,746	+15,458 +30.7 %	+23.3%
アジア	15,267	14,730	13,032	-1,698 -11.5 %	-
中国	5,694	5,521	2,664	-2,857 -51.7 %	-56.8%
OEM	5,775	4,854	4,752	-102 -2.1 %	-2.1%
合 計	103,621	104,765	127,803	+23,038 +22.0 %	-



内 アクレック	通 期	前期比
2020年4-12月期	2021年1-12月期	
1,125	2,686	+1,561 +138.8 %
7,297	16,301	+9,004 +123.4 %
450	607	+157 +34.9 %
-	-	-
-	-	-
8,873	19,594	+10,721 +120.8 %

※2021年3月期 第1四半期にアクレック社を買収
 ※アクレックの決算期は12月。
 2020年4-6月期より連結業績に組み入れ

- 米 州 … } リテール市場向け製品の販売は好調
- 欧 州 … } 金融市場向け製品 (TCR) の販売は好調
- アジア … 主要国で金融市場向け製品の販売は堅調
- 中 国 … 金融市場向け製品 (紙幣整理機) の販売は低調

百万円	通期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	42,262	49,877	36,079	-13,798 -27.7 %
売上高構成比率	18.9 %	22.9 %	15.9 %	-7.0 pt
営業利益	3,314	9,861	4,644	-5,217 -52.9 %
営業利益率	7.8 %	19.8 %	12.9 %	-6.9 pt

(百万円)

期	売上高	営業利益
2020年1Q	11,887	1,084
2020年2Q	13,718	1,771
2020年3Q	8,319	451
2020年4Q	11,608	795
2021年1Q	7,829	176
2021年2Q	11,379	1,717
2021年3Q	13,699	3,886
2021年4Q	16,970	4,082
2022年1Q	8,252	1,480
2022年2Q	9,600	1,716
2022年3Q	7,984	1,430
2022年4Q	10,243	18

業績のポイント

- ・主要製品であるオープン出納システムの販売は低調であり、窓口用紙幣硬貨入出金機の販売も大口需要の反動により低調
- ・新500円硬貨発行に伴う改造作業の一巡により保守売上高が減少

提供する価値

- 自動化・省力化ソリューション
- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
 - ・現金管理ソリューション
 - ・次世代店舗ソリューション
 - ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト	サービス
	<p>製品管理システム モニタリングサービス</p>

セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

流通・交通市場

百万円	通 期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	52,487	49,078	47,859	-1,219 -2.5 %
売上高 構成比率				-1.5 pt
営業利益	5,198	1,670	2,543	+873 +52.3 %
営業利益率	9.9 %	3.4 %	5.3 %	+1.9 pt

(百万円)

四半期	売上高	営業利益
2020年1Q	10,050	677
2020年2Q	12,952	1,387
2020年3Q	11,769	956
2020年4Q	15,235	1,323
2021年1Q	9,581	-61
2021年2Q	11,495	683
2021年3Q	12,066	915
2021年4Q	15,936	133
2022年1Q	11,573	844
2022年2Q	11,985	1,166
2022年3Q	12,406	713
2022年4Q	11,895	-180

業績のポイント

- ・レジつり銭機及び券売機の販売は、人手不足への対応に加えて、コンタクトレスニーズ、セルフ化ニーズの需要拡大により増加
- ・新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス

れほこれ!
テナント精算業務システム
待たずにラクへだ
医療費後払いシステム

データ活用サービス

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、公共交通機関、病院自治体等への販売・保守

遊技市場

百万円	通 期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	20,753	11,020	12,131	+1,111 +10.1 %
売上高 構成比率	9.3 %	5.1 %	5.4 %	+0.3 pt
営業利益	1,998			-76 - %
		-290	-366	
営業利益率	9.6 %	- %	- %	- pt



業績のポイント

・主要製品の「カードシステム」及び「ホール向け賞品保管機」の販売は前期と比べ増加したが、コロナ前の水準までには戻らず

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス

会員管理
機種データ管理

セグメントの概要

国内の遊技場（パチンコホール等）への販売・保守

その他

百万円	通 期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	5,045	2,680	2,688	+8 +0.3 %
売上高 構成比率	2.3 %	1.2 %	1.2 %	0.0 pt
営業利益	-2,364	-456	-1,408	-952 - %
営業利益率	- %	- %	- %	- pt



業績のポイント

- ・新事業部門への人的リソースの投入や実証実験など、戦略的投資を継続実施

主要製品・事業



Bio Pay



ロボット事業

セグメントの概要

4つの報告セグメントに属さない販売・保守

3 2023年3月期の取り組み



2023年3月期の取り組み (2023中期経営計画 基本方針／重点実施事項)

基本方針

重点実施事項

主な製品／サービス

事業戦略

I 次世代を切り拓く
事業開発の加速

- コア事業と親和性の高い事業領域の拡大(キオスク・DMP・電子決済サービスなど)
- 国内営業チャネルを活用した生体・画像認識事業、ロボット事業の収益化



II コア事業の革新による
収益の最大化

- コンタクトレス、セルフ化ニーズを捉えた製品・サービスの拡大
- 最新型製品(※TCR、レジつり銭機など)の投入
- 国内の新紙幣発行に伴う更新需要の獲得



経営基盤

III 持続的成長を支える
経営基盤の構築

- 成長投資と充実した株主還元を支えるキャッシュ創出力の強化
- スピーディーな経営判断をサポートする新ERPシステム導入などDXの推進
- 社員エンゲージメントの向上

サステナビリティ方針

社会の持続的成長への
貢献と企業価値向上を
目指した取り組みの推進

- 脱炭素社会実現に向けてCO₂排出量15%削減(2013年度比)
- 人権と多様性の尊重
- コーポレートガバナンスのさらなる強化



2023年3月期の取り組み 海外事業

コア事業

コア事業の革新による収益の最大化

金融市場

- ▶ TCR、及びセルフ型製品・サービスの販売強化
- ▶ デジタルサービス(UBIQUAR)との連携による製品の販売拡大



リテール市場

- ▶ Revolution社とのシナジーの早期実現
- ▶ デジタルサービス(UBIQUAR)との連携による製品の販売拡大



フロント ソリューション



バックオフィス ソリューション



新事業領域

次世代を切り拓く事業開発の加速

金融市場

- ▶ シェアドサービスの事業化に向けた取り組み強化

OneBanks

- ・Onebanks支店へのグローリー製品の設置
- ・英国金融機関からの受注獲得

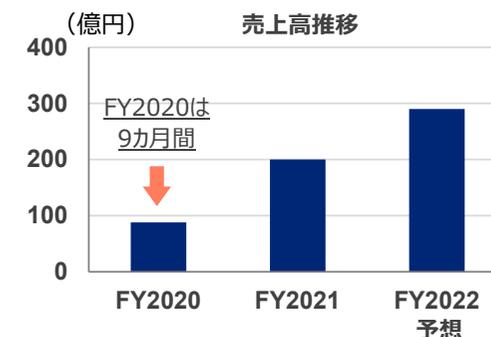


リテール市場

- ▶ Acrelec社とのシナジーの早期実現

ACRELEC

1. 米国市場の開拓
2. ドライブスルーの販売強化
3. KIOSKとCIのセット販売推進



2023年3月期の取り組み 国内事業

コア事業

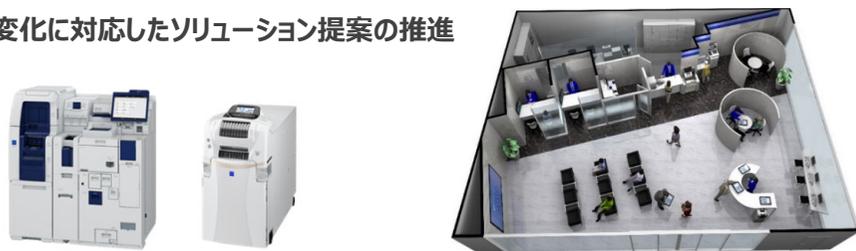
コア事業の革新による収益の最大化

金融市場

- ▶ セルフ型製品による次世代店舗の提案強化
- ▶ 製品のIoT化による付加価値の創造
- ▶ 新紙幣発行に関する需要への戦略的な対応

セルフ化ソリューションの確立

市場変化に対応したソリューション提案の推進



リテール市場

- ▶ コンタクトレス・セルフ化ニーズを捉えたセルフ型製品の拡販
- ▶ 新たなビジネスモデルによる未導入市場の開拓

セルフ型製品の拡販



新たなビジネスモデルの定着



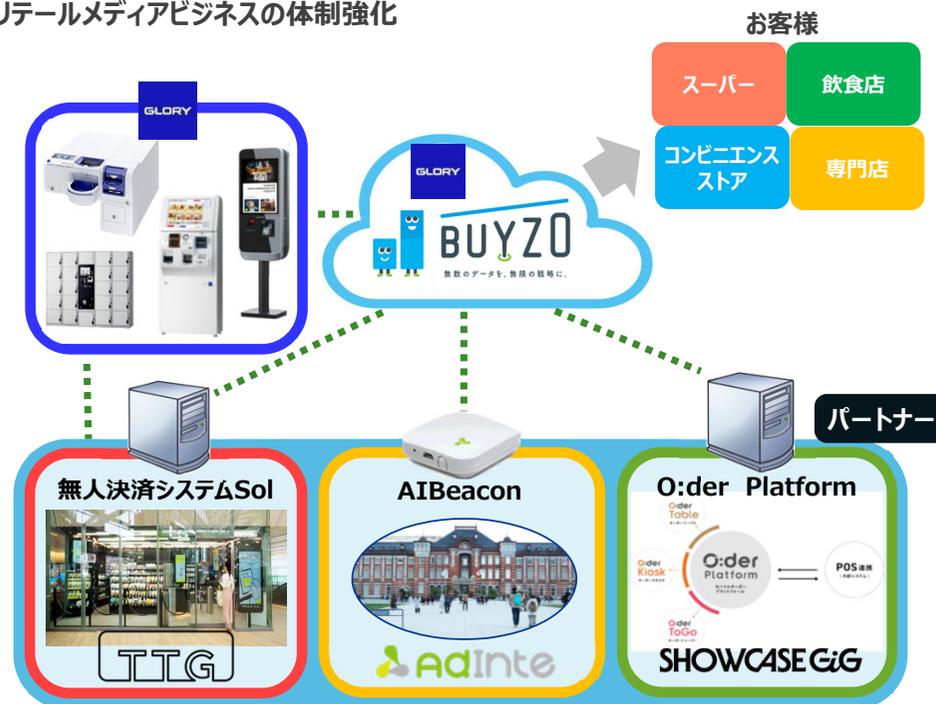
新事業領域

次世代を切り拓く事業開発の加速

- ▶ IoT製品とDMPを組み合わせることにより、金融機関・小売店・飲食店などの店舗DXの推進を支援

DMP事業の拡大

- ・DXビジネスを推進する組織（販売+開発）を新設し、事業化を加速
- ・リテールメディアビジネスの体制強化



2023年3月期の取り組み 国内事業（新領域事業）

■ ロボット事業

技術営業力強化による受注獲得

食品、医療・医薬業界の販売拡大

- ・食品 : 前年度商談の確実な獲得
- ・医療・医薬 : 包装・梱包工程と検査工程に注力
(自動化率が低い後工程)

重点顧客からのリピート受注

- ・導入企業の別ライン・別工場への展開推進
(重点顧客数 : 2022年度 9 社)

グローリーロボットシステムの3つの強み



エフェクタ開発



認識技術開発



周辺機器開発

■ 生体・画像認識事業

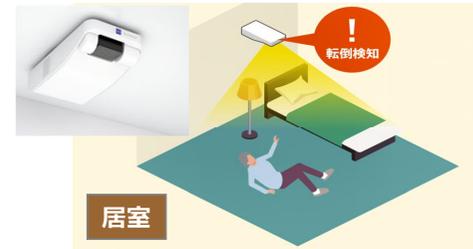
介護市場への取り組み強化

エコナビスタ株式会社と協業し、「転倒検知センサー」を開発

赤外3次元センサ
立体的な情報を広範囲に取得可能なセンサ



骨格認識技術
人物の姿勢を認識するAI画像認識技術



介護施設3施設 PoC実施 2022年度リリース予定

現在の進捗

- テクノイド協会 介護ロボットモニター事業参加
- ケアテック東京2022 展示会出展
- ライフリズムナビとの連携開発
- 住まい×介護×医療展 (7月) 出展予定



2023年3月期



通期業績予想

当社を取り巻く事業環境



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

当社を取り巻く事業環境

【需要】 国内外ともに製品・サービスの需要は堅調

【調達】 部材価格の高騰、物流コスト増は今期も継続

部品入手難：上半期まで継続し、下半期から緩和に向かう見通し

【物流】 海運需給の逼迫は今期も継続

【販売】 国内市場：下半期から回復を見込む

海外市場：製品リードタイムが長く、下半期後半から本格化する見込み

2023年3月期 通期業績予想



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

【増収減益を予想】

- ・国内外ともにコンタクトレス、セルフ化ニーズを捉えた製品、サービスの販売増加を見込む
- ・部品入手難や部材価格、物流コストの高騰により上半期の業績は厳しいが、下半期から徐々に改善する見込み

※需要に応じた生産や製品・サービスの供給が重要な鍵となる

(百万円)	上半期			下半期			通期			
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想	
売上高	88,625	103,154	100,000	128,798	123,408	145,000	217,423	226,562	245,000	
保守売上高	34,750	39,100	44,000	43,925	44,794	44,000	78,675	83,894	88,000	
営業利益	1,600	5,735	-7,500	12,601	4,562	13,500	14,201	10,297	6,000	
経常利益	1,946	5,725	-7,800	12,191	4,782	13,300	14,137	10,507	5,500	
親会社株主に帰属する 当期純利益	-104	2,443	-7,800	5,809	4,066	9,800	5,705	6,509	2,000	
※ EBITDA	8,908	13,785	1,100	20,502	13,720	22,100	29,410	27,505	23,200	
為替 レート	ドル	107 円	110 円	125 円	106 円	112 円	125 円	106 円	112 円	125 円
	ユーロ	121 円	131 円	135 円	124 円	131 円	135 円	124 円	131 円	135 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

2023年3月期 通期業績予想 セグメント別売上高・営業利益

上段：売上高
下段：営業利益

(百万円)	上半期			下半期			通期		
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想
海外市場	42,409 -196	54,850 1,354	56,000 -5,000	62,356 3,613	72,953 3,530	84,000 8,000	104,765 3,417	127,803 4,884	140,000 3,000
金融市場	19,208 1,893	17,852 3,196	15,000 -500	30,669 7,968	18,227 1,448	20,000 3,000	49,877 9,861	36,079 4,644	35,000 2,500
流通・交通市場	21,076 622	23,558 2,010	22,000 -1,500	28,002 1,048	24,301 533	29,000 2,500	49,078 1,670	47,859 2,543	51,000 1,000
遊技市場	4,874 -279	5,754 -106	5,500 0	6,146 -11	6,377 -260	9,500 500	11,020 -290	12,131 -366	15,000 500
その他	1,056 -438	1,138 -720	1,500 -500	1,624 -18	1,550 -688	2,500 -500	2,680 -456	2,688 -1,408	4,000 -1,000
合計	88,625 1,600	103,154 5,735	100,000 -7,500	128,798 12,601	123,408 4,562	145,000 13,500	217,423 14,201	226,562 10,297	245,000 6,000

海外市場 欧米主要国の大手リテーラー等の設備投資意欲は高く、リテール市場の拡大を見込む

金融市場 セルフ化ニーズに対応したソリューション提案の推進と共に主要製品の更新需要の獲得を目指す

流通・交通市場 コンタクトレス・セルフ化ニーズが継続することを予想しており、セルフ型製品の販売拡大を目指す

遊技市場 ホールの設備投資抑制が継続すると予想しており、主要製品の販売等の本格化には時間を要す

2023年3月期 通期業績予想 海外地域別売上高予想



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	上半期			下半期			通期		
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想
米州	13,769	17,069	20,000	21,755	27,615	35,000	35,524	44,684	55,000
欧州	21,007	31,569	31,000	31,974	37,398	41,000	52,981	68,967	72,000
アジア	7,632	6,211	5,000	8,627	7,940	8,000	16,259	14,151	13,000
合計	42,409	54,850	56,000	62,356	72,953	84,000	104,765	127,803	140,000
内 アクレレック	2020年4-6月期	2021年1-6月期	2022年1-6月期 予想	2020年7-12月期	2021年7-12月期	2022年7-12月期 予想	2020年4-12月期	2021年1-12月期	2022年1-12月期 予想
米州	329	1,179	3,200	796	1,507	4,300	1,125	2,686	7,500
欧州	1,646	7,032	8,100	5,651	9,269	11,700	7,297	16,301	19,800
アジア	163	260	700	287	347	1,000	450	607	1,700
合計	2,140	8,470	12,000	6,733	11,124	17,000	8,873	19,594	29,000

※2021年3月期 第2四半期よりアクレレック社を連結業績に組み入れ
 ※2022年3月期 第3四半期よりレポリューション社を連結業績に組み入れ
 ※2023年3月期より以下の通り開示内容を変更しています。
 ①地域別売上高の中にOEM売上高を含めています。(過去2年遡及修正)
 ②アジアの中に中国を含めています。

株主還元について

配当 2022年3月期の配当について

配当目標：

のれん償却前連結配当性向30%以上(2023中期経営計画期間平均*)

*2023中期経営計画期間中の累計配当総額÷累計のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たりの配当金	第2四半期末	期末(予定)	年間(予定)
	34円	34円	68円

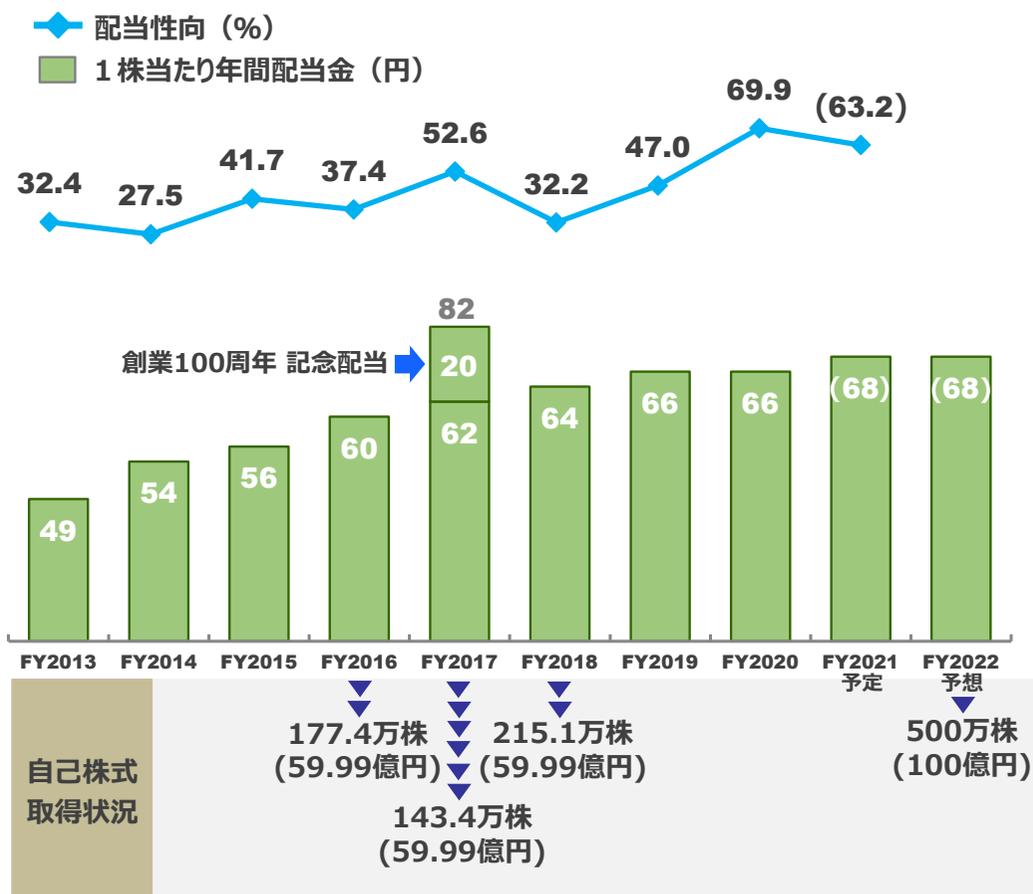
※期末配当につきましては、2022年6月24日開催予定の第76回定時株主総会に付議する予定です

自己株式取得

資本効率の向上を目的に自己株式を取得

取得目的	資本効率の向上
株式取得価額の総額	100億円 (上限)
取得予定株式数	500万株 (上限)
取得期間	2022年5月13日～ 2022年11月30日

年間配当金・配当性向・自己株式取得の推移



参考資料

2022年3月期 通期 損益計算書・包括利益計算書



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	通 期						増減
	2020年3月期	売上高比率	2021年3月期	売上高比率	2022年3月期	売上高比率	
売上高	224,170	100.0%	217,423	100.0%	226,562	100.0%	+9,139
売上原価	137,109	61.2%	131,962	60.7%	136,800	60.4%	+4,838
販売費及び一般管理費	69,134	30.8%	71,259	32.8%	79,464	35.1%	+8,205
営業利益	17,927	8.0%	14,201	6.5%	10,297	4.5%	-3,904
営業外収益	785	0.4%	1,589	0.7%	1,429	0.6%	-160
営業外費用	3,197	1.4%	1,652	0.8%	1,219	0.5%	-433
経常利益	15,514	6.9%	14,137	6.5%	10,507	4.6%	-3,630
特別利益	226	0.1%	27	0.0%	4,752	2.1%	+4,725
特別損失	899	0.4%	1,574	0.7%	1,476	0.7%	-98
税金等調整前当期純利益	14,842	6.6%	12,590	5.8%	13,783	6.1%	+1,193
法人税等	5,326	2.4%	6,073	2.8%	6,239	2.8%	+166
当期純利益	9,515	4.2%	6,516	3.0%	7,544	3.3%	+1,028
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,486	3.8%	5,705	2.6%	6,509	2.9%	+804
当期純利益	9,515	4.2%	6,516	3.0%	7,544	3.3%	+1,028
その他有価証券評価差額金	-672		1,128		-9		-1,137
為替換算調整勘定	-2,542		4,059		8,984		+4,925
退職給付に係る調整額	-1,333		5,264		937		-4,327
その他の包括利益合計	-4,551	-2.0%	10,459	4.8%	9,920	4.4%	-539
包括利益	4,693	2.1%	16,976	7.8%	17,465	7.7%	+489

2022年3月期 通期 貸借対照表

(百万円)	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	増 減	(百万円)	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	増 減
現預金・有価証券	73,076	66,238	52,366	-13,872	買掛債務	18,623	17,072	21,631	+4,559
売掛債権	52,838	56,344	53,169	-3,175	短期借入金	24,951	18,786	19,328	+542
棚卸し資産	51,681	52,516	69,023	+16,507	その他	42,192	51,938	58,939	+7,001
その他	3,306	4,680	15,195	+10,515	流動負債合計	85,766	87,796	99,898	+12,102
流動資産合計	180,901	179,778	189,753	+9,975	長期借入金	46	3,939	11,187	+7,248
有形固定資産	38,503	39,183	40,485	+1,302	その他	35,950	42,539	43,138	+599
顧客関係資産	17,968	22,473	21,335	-1,138	固定負債合計	35,996	46,478	54,325	+7,847
のれん	43,246	49,800	64,157	+14,357	負債合計	121,762	134,275	154,223	+19,948
その他	6,701	8,369	9,580	+1,211	資本金	12,892	12,892	12,892	0
無形固定資産	67,915	80,642	95,072	+14,430	利益剰余金	162,595	164,411	166,665	+2,254
投資その他の資産	21,110	31,003	37,474	+6,471	その他	11,181	19,029	29,006	+9,977
固定資産合計	127,529	150,829	173,032	+22,203	純資産合計	186,668	196,332	208,563	+12,231
資産合計	308,431	330,608	362,786	+32,178	負債純資産合計	308,431	330,608	362,786	+32,178

2022年3月期 通期 キャッシュ・フロー計算書



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	24,555	28,443	10,315	-18,128
投資活動によるキャッシュフロー	-13,032	-21,666	-25,799	-4,133
財務活動によるキャッシュフロー	-15,339	-12,131	-942	+11,189
現金及び現金同等物の増減額	-4,734	-4,357	-13,801	-9,444
フリーキャッシュフロー	11,523	6,777	-15,484	-22,261

2022年3月期 通期 セグメント別売上高・営業利益（予想比）



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

（百万円）	売上高			営業利益		
	2022年3月期 通期		予想比	2022年3月期 通期		予想比
	予想	実績		予想	実績	
海外市場	125,000	127,803	+2,803 +2.2 %	4,500	4,884	+384 +8.5 %
金融市場	36,000	36,079	+79 +0.2 %	4,500	4,644	+144 +3.2 %
流通・交通市場	49,000	47,859	-1141 -2.3 %	2,800	2,543	-257 -9.2 %
遊技市場	12,000	12,131	+131 +1.1 %	-300	-366	-66 - %
その他	3,000	2,688	-312 -10.4 %	-1,500	-1,408	+92 - %
合計	225,000	226,562	+1,562 +0.7 %	10,000	10,297	+297 +3.0 %

2022年3月期 通期 設備投資など



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	通 期			前期比	四半期毎の推移
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		
設備投資額	10,687	9,739	11,423	+1,684 +17.3 %	<p>FY19 (4Q) 3,998 FY20 (1Q) 1,134 FY20 (2Q) 3,572 FY20 (3Q) 2,534 FY20 (4Q) 2,499 FY21 (1Q) 2,363 FY21 (2Q) 2,401 FY21 (3Q) 2,682 FY21 (4Q) 3,977</p>
減価償却費	10,133	10,706	11,952	+1,246 +11.6 %	<p>FY19 (4Q) 2,678 FY20 (1Q) 2,333 FY20 (2Q) 2,768 FY20 (3Q) 2,755 FY20 (4Q) 2,850 FY21 (1Q) 2,724 FY21 (2Q) 2,901 FY21 (3Q) 3,008 FY21 (4Q) 3,319</p>
研究開発費	14,082	14,730	14,743	+13 +0.1 %	<p>FY19 (4Q) 3,863 FY20 (1Q) 3,185 FY20 (2Q) 3,736 FY20 (3Q) 3,558 FY20 (4Q) 4,251 FY21 (1Q) 3,344 FY21 (2Q) 3,900 FY21 (3Q) 3,583 FY21 (4Q) 3,916</p>

2023年3月期 通期業績予想 設備投資など



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	通 期			前期比	半期毎の推移					
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想							
設備投資額	9,739	11,423	9,000	-2,423 -21.2 %	4,706	5,033	4,764	6,659	4,500	4,500
					FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H	FY22 1H(予)	FY22 2H(予)
減価償却費	10,706	11,952	10,000	-1,952 -16.3 %	5,101	5,605	5,625	6,327	5,000	5,000
					FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H	FY22 1H(予)	FY22 2H(予)
研究開発費	14,730	14,743	14,500	-243 -1.6 %	6,921	7,809	7,244	7,499	7,000	7,500
					FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H	FY22 1H(予)	FY22 2H(予)

サステナビリティ

気候変動に対する取り組み

■ カーボンニュートラルの実現に向けて ■

「脱炭素社会の実現」を推進するため、



1) 2030年度：CO2排出量を50%削減する（対2013年度比）

2) 2050年度：CO2排出量実質ゼロを実現する

環境長期目標

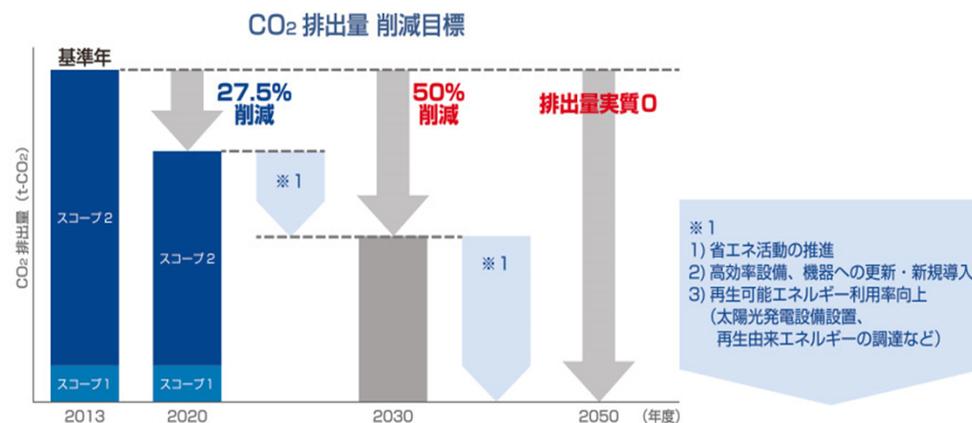
2030年度
CO2排出量を50%削減（2013年度比）

2050年度
CO2排出量実質ゼロを目指す

※当社の排出量削減目標は温室効果ガスを対象としていますが、そのほとんどが二酸化炭素（CO2）であるため、CO2と表記しています。

※当社および国内連結子会社（ISO14001 認証取得拠点）を対象

※（スコープ1：自社で直接排出）+（スコープ2：自社で使用しているエネルギーの間接排出）を対象



■ CO2排出量削減・抑制の取り組み ■

1) スコープ1+2 CO2排出量（国内・海外）の削減

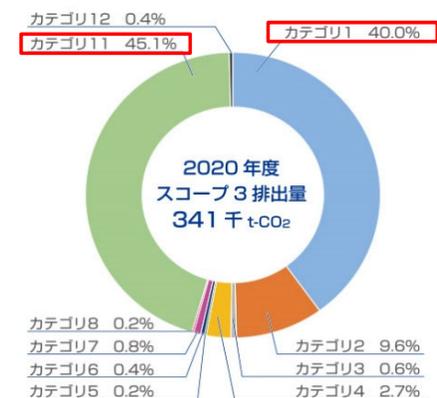
・電力監視システム(デマンド監視機能)やLED照明、人感センサーの導入など

・本社社屋の屋上に太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーを利用



2) スコープ3 CO2排出量（国内）の抑制

製品・サービス（カテゴリ1）および販売した製品の使用（カテゴリ11）からの排出が85%。
このカテゴリに重点をおき、排出量の最小化を推進



<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくことなる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。